滿州日報

○報價
每月收取八角代實所及遼
撥人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登
一日者每行二角每登十日
行一角五分登月者每行每
日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

告料
一ヶ月以內 錢十五仙乃至十…
一長期連揭減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

一洗石鹸 二打入 同三圓三十錢
一同 二十本入 同一圓七十錢
一袋寒綿 六枚入百袋 同一百三十圓
一改良半紙 一〆 關東公司 錢三圓

一綿ネール 仙人印
一白味噌 正五貫入一樽 同二圓八十錢
一同赤 正十八貫入 同八圓五十錢
一堅パン 七貫入一函 同九圓
矢野洋行

一女手袋 打同 圓より十 圓迄
一メリヤス手袋 打同三圓より六圓迄
一小供手袋 打同一圓五十錢より五圓迄
一女シャツ 打六圓八十錢より十圓位迄
一小供シャツ上下 打同九圓位より廿圓位迄

告示

來る廿日より廿八日迄在留日本人の種痘を司法部裏醫務所に於て無料施行す

月　日　營口軍政署

廣告

工事材料購買入札

第一號
一杉丸太　長七間ヨリ三間半迄取合　貳千百本

第二號
一條石　延長　四千五百丈

第三號
一砂　一千立坪

右每号入札ニ付ス入札希望者ハ當署土木係ニ就キ契約書案熟覽ノ上來ル三月十五日午前十一時入札保証金各自見積代金拾分ノ一以上相添ヘ入札書差出スヘシ
但即時開札ス
此契約ハ營口軍政官與倉喜平擔任ス
明治三十九年二月二十六日
營口軍政署

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓
本支店出張所
横濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話十番 支配人室
百八番 事務室
横濱正金銀行牛莊支店

三井洋行

特者本行開創在中外通商各埠已有年歷所有棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉久為遠近如蒙各商光顧請親臨是荷者

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部

今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は全所へ御照會被下度願上候
(電話百二十八番)

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印并一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街開設德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布綢衣荷標布手巾花巾東洋綢子洋巣鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另添有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨為幸

運輸部
這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚

總司理人田中賴之助謹白　電話 東店五五 西店一八三

三井洋行經理

明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議　(電話六十八番)

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖紙雜貨發行並匯兌銀錢代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極為利便圓貯油餅豆米麥更為合宜乘置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水腳棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷　總司理人葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油粋生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之　正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料疆棧堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

係裝運各樣火輪船生意兼賣各樣洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

元茂盛

油坊買賣元豆豆油豆餅雜色糧石以及代客賤兌雜貨布疋一概發行裝運沙船輪船交易南北客商歷有年矣為此謹白
開設營口西街老爺閣前路北營乙第四十九號

代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌(斯達)櫻花牌(提利)百合花牌(利利)均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口而價值極廉　諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德𠂉採買庶不致誤謹此廣告

賣捌並廣告取次所

大連市浪速町三百三十八號　日華運輸公司
大連市盤陽城四樂九番地　岡野新聞舖
奉天大南門內景祐宮胡同　全泰號
遼陽遼倶町十　谷口今朝太郎

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の為め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を為すへし

營口　瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白

營口瀛華實學院

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

松茂洋行商業部　河岸通(電話五十二番)

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續　但弊店事務所及鄭船會社代理店內派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿州一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、襪子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價值格外從廉克己、凡　中外仕商賜顧者、請速臨為幸、

大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口營定門外經大阪九三組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉　賜顧者請光臨本舖面閱是幸

田中牛莊分莊謹啓

材木販賣

荒物

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町

本店　下關　秋田寅之輔商店

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名國遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡　中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨真價實以應各主顧之需謹此本主人啓　局　㑹

東洋號運貨局

本局新設新民府今經官准由新民府至奉天輕便鐵路開辦運貨凡鐵路運費比之車運迅而廉衆人所知也本局所辦事宜誠實為旨懇切受托量更不欺且運費格外公道以籌貨主之利便不論貨量多少論担算或論噸算均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客票本局亦可飭人代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨可也特此週知
新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本店
奉天輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

電氣諸機械

大販賣

本店　天津日本租界電話二〇〇
支店　營口永世街甲二一五號

三友洋行電機部　(電一五四番)

主任　朱牟田寅吉

工

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結ひ廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

營口元神廟前

飯塚工程局材料部

(電話百三十五番)

東京電報

●日比谷の皇甥歡迎會

本日日比谷公園に於て東京市の發起に係る英國皇族コンノート親王殿下の歡迎會あり近世無比の人出にして非常の盛會なりき殿下には殊に御滿足あらせられたり　（二月二十六日發電）

倫敦電報

●ジルク氏の婦人參政權案

英國名士サー、チャーレス、ジルク氏の婦人參政權案に據れば各丁年の男子及び婦人は投票權を有し性の異同若くは結婚に依て貴族院若しくは衆議院議員たるの資格を失ふことなしと云ふ條項あり

●モロツコ會議盛々紛糾

モロツコ國政府は國立銀行案をアルジエシラス會議に提出せり之れが爲めに會議は益々紛糾を極むるに至れり　（以上二月二十六日發電）

雜報

●赤十字社へ優詔

去十六日日本赤十字社へ左の勅語を賜はりたり

勅語

朕明治三十七八年戰役に於て陸海軍の衞生事務を幇助し遺憾なからしめ克く博愛の實を擧けたり朕深く之を嘉す

又皇后陛下より賜はりたる令旨左の如し

令旨

明治三十七八年戰役た於て傷病者の救護に努力し一視同仁克く其の本分を盡したるを懌ふ

●統監の權限爭ひ

統監が韓國守備軍及び沿海の警備艦艇を指揮し得る權能を有することに就ては陸軍部内に反對の聲少からず現に守備軍よりは參謀官上京して參謀本部に打合す所あり爲に昨今大山參謀總長、兒玉次長と伊藤統監との交渉頻繁なるが此問題は曾て臺灣總督設置の際伊藤、山縣二候の間に爭はれたる所にして武權派は總督を武官に限らざれば危急の場合に軍事上の指揮權を與ふるに不適當なりと唱へて伊藤侯の文官總督説に反對し現に臺灣總督は武官に限れる次第なるに今回伊藤侯自から統監たるに及び陸海軍二權を掌握し統監敬禮式、統監旗を定め文官を以て武官の上に臨むに至りたるより陸軍部内の異論を惹起したるものなるべきが結局統監府官制に多少の改正を加へて解決せらるゝならんといふ

●露國の歳入缺陷

露國財務官ココーツオフ氏は巴里にて左の如く言明せり露國は平和克復後十二億五千萬法の國債を佛、獨、英、米、蘭の五ヶ國に募らんとしたるも國内に起れる擾亂の爲め募債を中止せり然るに本年度の露國臨時豫算は四億九千三百萬法にして僅に一千萬法だけ經常收入殘額によりて堪補するを得るのみ他の四億九千三百萬法中三千萬法は豫備兵家族補給費三千萬法は凶作地窮民保護費、四千三百萬法は鐵道敷設費なり露國政府は本年の春季以後內國債を起す筈なり云々

●米大統領同情の檄

我が東北難民に對する米國大統領の深厚なる同情は歐洲前電の報ずる所なるが其檄文左の如し

日本の北部に於ける凶荒は吾人が當初推測せしよりも遙に慘澹たる狀況にして飢餓に瀕する者數千人に及べり斯の如きは如何なる國にても時に之に遭遇する事を免かれ難き災殃なり困難に際し互に救助を致すべきは國民間に於ても個人間に於けるに異る事なし予は米國民が其餘裕を割き以て大國民にして我が友邦たる日本の窮民を救助せん事を熱望す此用途に充つべき寄附金は米國赤十字社に送付せられたし同社は之を日本赤十字社に轉送し其使用方法は日本政府の指揮に依る事とすべし

●露國騷亂の損害

ミグリシ博士は露國騷亂をば左の如く計算せり

直接損害

バクー火災一億萬留▲燒かれたる五百軒財産五千萬留▲オデツサ港損害五千萬留▲工塲損害四千萬留▲キユーロス等各地損害六千萬留▲海陸軍物質的損害五千萬留

間接損害

交通杜絶の爲め四千萬留▲ストライキの爲め勞働者の損害二億萬留▲去國者資金の損失二億萬留▲信用相塲機關の短縮に因る損害一億萬留▲外國へ金貨の流出一億萬留外國商館の退去に因る損害一億萬留なり

●第二西伯利線

露國政府は第二西伯利亞線を敷設する事に決し本線は西伯利亞鐵道をストレチエンスクより沿海州に向つて延長しハバロフスクにて烏蘇里線に接續するにありて線路は黑龍江の水流に沿ふて露領を離れず其の終點は烏港に達するものにて落成の上は本邦へ讓渡したる東清鐵道と大競爭を試むるに至るならんとなり

●滿洲近事

▲罌粟を禁し五穀を勸む　奉天將軍趙爾巽氏の奏稱に云ふ東三省土地肥美居民多く罌粟を種植して土産の大宗と爲すを以て偶ゝ兵荒あるの時に際しては糧米非常に騰貴し居民糊口に窮するに至る今や軍務始めて平に居民漸次常業に復せり丞に宜しく五穀を種植して養命の源と爲すへしと清廷乃ち吉林黑龍兩將軍に訓令して法を設けて罌粟を植ゆるを禁し以て殖民の根本と爲せりといふ

▲趙將軍の外債稟議　津報の傳ふる所に據れば趙將軍は此程淸國政府に向ひ日淸協約に明記せられたる森林事業の共同經營及ひ奉天の開放其他に就き巨額の費用を要するも今日に在りては到底支出の途無きにより一時外債を起して之か費用を支辨せんことを立案し其旨稟議に及ひたりといふ

▲黑龍江將軍と北洋煤章　黑龍江程軍帥は此程商部に電致し金牛山懷獾洞馬鞍山朝陽山四個所の炭礦を開掘せん爲め協領を派し北洋に赴かしめ其採掘方法及び一切の狀況を視察せしめたきに付其旨北洋大臣に照會せられんことを請へりといふ

▲奉天將軍の條陳　聞く頃者奉天將軍電奏四事を條陳す曰く奉天の開放は總へて湘潭濟南の新章に參仿して辦理する事曰く奉天府に新設せらるへき電燈は之を官業と爲す事曰く煙酒權税を整理すること一に直隸の章程に倣ふ事曰く房地契税を辦すると典售に論無く均しく印契を用ゐ私に相授受する者は罰すへき事是れなり

▲團練費と人民の怨嗟　奉天省にては今回團練經費に關する新規則を制定し人民所有の田園每一畝に付四十仙を課することとし且つ二年前に溯りて其以後の税金を取り立つることと定めたるを以て戰亂によりて疲弊せる人民は之を至大の痛苦なりとし趙將軍に對する怨嗟の聲頗る高しといふ

▲奉天常備軍と匪徒　過日保定より奉天省に派遣せられたる北洋軍第三鎭即ち奉天常備軍は目下錦州に駐屯し其數六千人と稱す匪徒は阮五といへるを首領とし紅蘿山一帶の地方を横行し其數六百餘に及へるが新軍の來駐を聞き風を望んで皆口外に逃走せりといふ

●芝罘在留外國人數

最近の調査に依れば芝罘に在留する外國人は米國七十八人（山東省全體に於て米人二百二十四人マニラ人一人）英國人八十人（但し小學生徒を含まず）露國人二十人獨逸人二十五人佛國人六十人（山東省全體に於ても六十人其外希臘土耳其等十五人）和蘭人十一人諾威人十四人瑞典人五人墺太利人一人伊太利人六人にして英米人最も多しといふ

●昨今の軍票

昨今に於ける軍票の相場を聞くに更に騰貴して一圓〇五厘を以て流通しつゝありと云ふ、斯の如く軍票は再三再四騰貴し僅々の間に於て能く十四錢（金票一圓に對し）も昂騰せしに獨り物價の依然として高値を保し少しの下落を觀さるは寧ろ不思議と云ふへし

●營口兵站司令部の凱旋

昨年以來數閲月間駐屯し職務に勉勵せられたる營口兵站司令部全員の勇士は愈ゝ三月五日當地引揚凱旋の途に就かるゝと云ふ因に與倉司令官は兵站司令官を離れ營口軍政官として從前の通り就職せらるゝ筈なりと

▲輕便鐵道の近況　輕便鐵道の近狀を聞くに昨今の收益は大部分は荷物の輸送に依りて生する如く一日の收入、百二三十圓乃至百四五十圓ありといふ而して就中收入の最も多きは綏定門驛にて人荷の双方にて一日大底五六十圓の收入あり次は第二市場驛にて一日復た四五十圓を下らす牛家屯驛は每日の不同甚たしきも大約三四十圓內外なりと云ふ更に昨今の輸送貨物は到着の分は過日來の板類併に雜貨品多數にして出荷の分に於ては三井の粟四千俵の外は所謂雜品なりしと云ふ尙は昨今輸送の荷物は槪ね邦人の所有に係る者なりと

●淸商の商況

昨今に於ける淸商側の商況を聞くに土人も新年の睡眠より醒めて日尙淺く且つ昨今は過爐銀問題等の爲め、重立ちたる土人は心配やら、多忙やらにて新に事業を開始する者至て少く旁々、商業は活氣無く依然として沈靜の裏に在りと云ふ

●配達の怠慢

信書類の配達は今ま暫く措き一秒一分を爭ふ所の電報の配達の敏速を欠くは在住民一般の甚た不便とする所也　聞く所に據れは電報の配達夫か街上、新聞を默讀しつゝ步行せるも珍しからすと云ふ、其の配達の兎角敏速を欠くは種々の餘儀無き事情に原因するならんも斯の如き配達夫の横着も亦た與りて甚た力あるへし監督者は公衆の爲に自今一層の注意之れあつて然るへし

●配達の横着

以上は牛莊郵便局に於ける電報配達の小言なるか河北の配達に係る電報に對しても同しく市內の小言甚た多し、左に其の一を記して其筋の注意を煩す事とすへし

河北より營口に配達する電報の手數料は一通十錢と記憶せるに近頃は一通に對し三十錢を强請するの常なり、一通に對し三十錢を强請する尙は可なりとせん一時に十通、二十通を纏めて配達し其の手數料は又た一通三十錢の割合を以て計算し强要すと云ふ豈に言語同斷の不埓に非すや斯の如きの不埓は是非其筋に於て嚴重の取締りあり度き者也

●理髪同業者

昨今營口に在る理髪業者は全休に於て十四人なり而して就中十二人は各店を有する者なりと云ふ、昨年九月頃に於ては營口に在る理髪者は三十二三人なりしに今日に於て僅に十四名となりたるは復た不景氣の反影と云ふへきか將た或は遼陽奉天等に於て營口從前の景氣を繰返すある爲めか

●活動寫眞會

來る三月一日より二本町松榮座に於て活動寫眞會を催すと云ふ

●料理店の揚高

例に依りて各料理店の第二回（二月十日より二十日迄）の揚り高を見るに當期間は合計二万二千〇十圓五十六錢此人員三千九百十人にして最も揚り高多き家を掲ぐれば第三樓の二千八百四十三圓金城館の二千三百七十四圓祇園閣の一千六百八十圓七十五錢日本館の一千四百〇一圓四十三錢等なりと

投書かご

▲近頃軍政署に無職業の無頼漢を頻りに狩られて居る御樣子誠に難有い仕合我々實業家は大に滿悅する所です（一商店）▲春帆樓のおりん一力の年子都樓の米八高砂の十郎此四人は去日姉妹の盃をしたそうだ何の爲めの姉妹です互に客を取り合ひせぬ契約姉妹ですか將た他に何か因緣のある事ですか（聞たい）▲料理店の揚り高には非常に山子があるやうですか或は廣告利用の人氣取りの爲ではないでせうか僕の知て居る料理店〇〇〇は慥に僞めですよ（放螺吹家）▲此間養氣軒の玉突競爭會に片山が一等賞を得たので家に歸りて藝妓仲居を膝元に寄せ祝賀會を開き大氣焔であつたさうです（ヒヤ〳〵生）▲元滿月の權兵衞さんが元神廟街で喜樂亭とか云ふ料理店を始めて居るが此不景氣にも係らずお客の大入で御座敷御座無く候と云ふ掛札をチヨイ〳〵掛けて居るさうですが此不景氣に如何なる原因があるのですか（實切生）

●藝妓仲居周易判斷　　朴搖老

春帆樓　おりん

本名山下林子（明治十三年四月一日生）

扨てお前さんは、一目即ち見付は大變優さしいやうぢやが、朱に交れば赤くなる喩で、こちらへ來てから時折り新聞社の三面種の製造所を引受けた事も五六回御座らうがな、愚老が其內の一つ二つ卦を立てゝ見よう、先づいノ一号に天津の方で騒ヶ原とか市ヶ原とか云ふ入字髯を生捕つたで御座らう、最初はお客扱ひにして少なからぬ軍票を手練手管で卷上げたが追々枕の數を重ねるに連れて餘程浮氣名を流し末は遊廓券法第吐百條の本文通り誤夫婦迄の契約が成立し今にも高砂の諸目出度き一段となり計らず某新聞に素破拔かれて終には折角の苦心も水の泡、ろノ貳號では滿洲と韓國の名に因なんだ公司とやらの番的立木とか横木とか云ふ優男とお安くない妥協案を締結し、はノ參號では大黑天のお取り持ちで肩書の長たらしい慢醜美元〇〇〇〇の仁原とか云ふ洋行戻りのハイカラとバンカラの相の子の先生と怪しい交渉が纏り追々夜伽談判が世間に八ヶ間敷噂させらるゝ爲めかボーツマスであらぬゲンロクヤ會議で失敗し、にノ四號で、先生〳〵モー宜しゆう御座います人を馬鹿になさるも程があるおぢやありませんか年寄ぢやと思ひハイ〳〵と聞けば人を下駄札のやうにいノろノて、マア〳〵怒らつしやるなそれぢや其位で置きましようお前さんは跡を聞かぬうちから早合點して八ヶ間敷言はつしやる、そこでお前さんも愈々男はコリ〳〵したと例のお神酒がボツ〳〵導火線となり此頃は關係のない人でも男の顔見れば何だか厭な素振をして余り博愛主義の行ないは聞かんやうぢや眞面目に稼いで早く堅氣にならつしやい

お前さんの星は三碧木星であつて內外ともに柔和にして能く人に隨ひ何事にも御無理御最と云ふ風に隨ふやうぢやがどうも決斷力に乏しい爲め自然獨立獨歩人の前に立つて進むと云ふやうな事は出來ない又幼少から中年までは兎角意の如くならず種々の苦勞が絶へぬ事かあるやうぢや、又物に飽き易く、常に進む事なくウジ〳〵として引込思案の方ぢや、まだ相性や何かいろ〳〵見て進ぜる事があるが今日は少し他に要事があるから又今度來さつしやいユツクリ見て進ぜうハイさやうならアヽチヨイト〳〵おりんさん呉れ〴〵も云ふて置くが大酒を呑んでは身の爲になりませんぞな

新作小說　おとし胤

作者　德田秋聲

故紅葉門下四才子を出す曰く秋聲曰く鏡花曰く風葉曰く春葉而して秋聲最も蘊蓄の富譜を以て稱せらる其嘗て萬朝紙上載する所の少華族の如き之を本郷座の演劇に仕組みて滿都好劇家の喝采を博し盛名一時に藉甚す此新作小說『おとし胤』は即ち本紙の爲めに特に起稿を諾せるもの則ち來る三月一日より續揭し以て湖江の閲讀を請はんとす今より以て後願くば才人の健筆によりて無味乾燥なる我紙上を紛飾するを得んか敢て豫告す

▲逃亡兵士の自首　島根縣今市町大字今市村平民第五師團第十補助輸卒隊補充輜重輸卒廣岡寶三郎（廿四）は昨年十二月十六日無斷の儘自己の兵舍を飛出し何思ひけん足の向く方向に任せ遠く蒙古內に侵入し馬賊の爲め二週間計り監禁せられ其後又もや宛てもなくブラ〳〵徘徊して終には當營口に來りたるも身を寄すべき知人もなく懷中無一物にて饑に苦しみ止むを得ず軍政署へ自首したりと扨ても情ない兵士殿なり

●小說『玉島少女』の揭載中止に就き

曩に本紙が壽山の名を以て小說『玉島少女』を掲載するや頗る讀者の喝采を博して好評嘖々其續揭の遲きを恨むの狀ありしに圖らざりき載する三四回にして其筋書の嘗て何書かにて讀みたるものに髣髴たりといふ者あり或は同小說は剽竊の嫌ありと注意し來る者あり然れども本紙は營口在留の某女史が自筆に成るものとして直接社員の携へ來りしものを掲載せるを以て斯る世評には耳を傾くることを爲さゞりしも最後にMM氏の名を以て其小說の實に文藝倶樂部第十一卷第八號田山花袋氏作『名張少女』と一字一句も相違せる所無きを報じ併せて本紙の責任に言及せらる然れとも本紙は尙輕忽其言を信じて作者の名譽を毀損せんことを恐れ乃ち更に該小說を一時中止して一面投書簡欄に於て忠告者の好意を謝し併せて其雜誌を貸與せられんことを請ひしも報せられず數日を荏苒して昨始めて文藝倶樂部第十一卷第八號を得て之を對照せるに果してMM氏の告ぐる如く一字一句殆ど相違せる所無く其某女史が自作の小說として前後二回に寄せ來れるもの實に他人の剽竊にして全くの複寫なることを知り始めて其德義心の缺乏に驚くと共に其果して何が爲めに他人のもの迄も己れのものとして投寄せざる可らざるの必要ありしかを欵ひたり勿論本紙は平生某女史の性行言動に就きては多少の疑念を抱かざりしに非ざりしと雖も凡そ出でゝ海外に在る者陋巷に窮居して風塵の間に伍すとも尙且つ往々尋常人を以て目すべからざるものあり況んや某女史の如く營口に於ても女流の有志家として相當の地位を有し相當の禮遇を受くる者をや其文を觀て其人を思ひ其人を思ふて其文を觀る誰れか復た破廉恥の斯くの如く甚しきを知らんや乃ち其人を信じて之を收錄せるもの今や則ち此失體を生じぬ是れ本紙が不明の致す所復た誰をか怨まん唯だ本紙の他意無きを辨じて此に讀者の諒を乞ふのみ嗚呼其破廉恥漢女流有志家を誰れとか爲す曰く營口の馬賊的蠻殼女豪高淵比佐與君即ち是れ

大車

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝帮子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	[illegible]	[illegible]

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間　下り列車

驛名	發着	時刻
[illegible]	[illegible]	[illegible]

上り列車

驛名	發着	時刻
遼陽	着午後	三、五〇
	發	四、五五
大石橋	着	一〇、三〇
	發	一一、三五
金州	着翌前	二、二〇
	發	[illegible]

大連營口線　上り列車

驛名	發着	時刻
旅順	發午後	二、〇三
大連	着	五、三一

天

營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時

社告

東北凶作地窮民救恤義捐金募集

一、義捐金額は一人拾錢以上とす
一、受付期限は二月二十八日迄とす
一、義捐金は直に本社に送附せられたし
一、本社が受付たる義捐金は毎日正金銀行に保管預入を爲すべし
一、期限後は之を一纏めとし東北三縣救恤會に送附し其配分方を托すべし
一、義捐者人名は本紙廣告欄に掲載し受領證に代ふ

明治三十九年二月七日

滿洲日報社

雜報

●ガーター勳章捧呈式

空前の盛儀なるガーター勳章捧呈式は愈々去二十日宮中御正殿に於て行はせられたり今其次第を洩れ承るに午前十時三十分コンノート親王殿下には各隨員を隨へさせられ降りしきる雪を冒して御參內相成り御車寄には稻葉、福岡、蜂須賀の各式部官迎接し給ひ親王御一行の休憩所に充てられたる宮中西一の間に御案內し英國大使マクドナルド氏夫妻並に大使館參事官バークレー氏以下各書記官大使館附武官及びダイヤデム艦長セーブリー大佐は西二の間に休憩し本邦側の參列者たる西園寺首相、加藤外相、寺內陸相齋藤海相、大山、山縣、野津、伊東、各元帥、井上正二位、德大寺侍從長、田中宮相、戶田式部長、其他東鄉、黑木、兩大將、高平公使、以下の各接伴官は宮中西溜の間に休憩せり斯くて先つ本邦參列者を御式場なる正殿に向つて左側に列立せしめ次に英國大使以下館員一同を向て右側に列立せしめ夫より陛下の出御を請ひ奉る陛下には皇太子殿下、有栖川宮、同妃、東伏見宮、同妃、伏見宮貞愛親王、伏見若宮妃、久邇宮同妃、各殿下を隨へさせられ高倉、北島、香川の三典侍岡澤侍從武官長、以下各侍從武官扈從し參らせ正殿に出御あらせられ玉座に立座あらせ給ふや伊藤式部次長の御先導にてコンノート親王殿下には各隨員を從へ正殿入口に進ませられマクドナルド大使入口にありて一々氏名を呼び上げたり順序により一人つゝ正殿に進む

マイルスランプソン　勳記捧持
陸軍大尉ウヰンダム　帽を捧持
陸軍大佐ダビツドソン　肩章附屬の星章と御ガ衣を捧持

是れまて一人つゝ進みしも次に

海軍大將シーモアー　ガーター勳章捧持
陸軍大將クリクンニー　頸飾章捧持

は兩人同列に並んて進み次に

レデスデール卿　大綬ジヨージ章を捧持して進み最後にコンノート親王殿下には英國皇帝陛下より天皇陛下に呈せらるゝ御親書を携へて進ませられ一人々々六步進み一たび敬禮をなし更に六步を進みて最敬禮を表し左に三步よりて玉座に對し直立し恰くの如くにして玉座の右側にランプソン大使館書記官、ウヰンダム大尉クリクンニー大將の三氏

左側には

ダビツドソン大佐、シーモアー大將、レデスデール卿の三氏

何れも玉座に面して直立し獨りラムプソン氏のみ橫向にて親王殿下に一々勳章其他を捧呈するの任を帶ひたり斯てコンノート親王殿下には正座の正面に相對して御着席相成り一同着席するやコンノート親王殿下には御前に進み玉座の階段を三段昇りて御親書を捧呈し陛下には御手づから復親書を受させられコンノート親王殿下には直に階段を下りて陛下の御前にガーター勳章の由來を述たるものを御讀上げ相成る即ちガーター勳章は六百年前エドワード三世陛下か創めて設けたるものにして本國に於ては廿人のナイト及ひ各國の帝室殊に親密の關係を有する同盟國皇帝等に贈進せるものにて余は英國皇帝の御名代としてこれを叡聖文武なる日本天皇陛下に捧呈するものなりとの趣意を述へ給ひ之れに對する勅答あり長崎式部官これを英譯し夫れより始めて勳章捧呈に移り陛下には立御の儘左の御足を御前に備へたる御足臺に上け給ふや親王殿下にはダイヤモンドにて羅甸語を記したる靴下締めを手づから陛下の御左足に締め給ふ次に大綬、星章、御着衣、頸飾章等を順次捧呈し一々親王手づから陛下の玉体に着け奉り最後に帽子を捧呈せられ陛下には御手づから帽子を被ぶるか如き御態度をなし給ひて直に侍從長に御渡し相成りこれにて全く式を終り一同最敬禮を表し陛下には十一時十分入御あらせられたり此式中の時三十分餘に渡りしか陛下には終始立御の儘にて其御式を了らせられたりと承る

●丙午の火氣を按じて風下火上の鼎を得たり（舊臘冬至の占）

象象生

巽下離上

彖傳曰　鼎象也以木巽火亨飪也
大象曰　木上有火鼎
九四曰　鼎拆足覆公餗其形渥凶

斷に曰く此卦下卦の巽を木とし風とす上卦の離を火とし燃ゆるとなす之れ木上に火を生するの象なり原來火の性は自立すること能はさるものにして木を得て以て其體を保つものなり故に木、盡くれは火も亦從て滅す今此卦火にして木を得たるは正さに之れ火勢の熾なるものなり之れを鼎象也以木巽火亨飪するなりと謂ふ亨飪也とは尙燃ゑ附くと言ふか如き意にして火風兩性互に相交はるを言ふ而して今九四の變を得九四は五の君位に隣するの位置にして木に火の燃ゑ附くの間にあり下卦の巽風の爲めに煽動せられ其勢ひ劇甚となり大都の一部に大失火を生するの象ありこれを鼎拆足覆公餗其形渥凶と謂ふ鼎拆足とは大家の倒れて盡滅せらるゝを言ひ覆公餗其形渥凶とは帝京の下火災を起こすの凶なるを言ふものなり而して變卦の蠱は三虫一皿に囘はるの象にして三都に各一ケ所又は一都に三ケ所の大失火を顯はすの象あり而して此卦下卦の巽を春とし上卦の離を暑となし夏となす即ち春より夏に至りたるの間最も此災多きを察す因に言ふ本年旅順口の氣運は火山旅の上爻にして火の山を燒き鳥其巢を失ふの象なれは殊に仝地に於ける火災豫防には各自注意あらんことを切望に堪へさるなり

●でたらめ草

エム、エス、ホウセン氏曰く裸體畫の流行は決して健全なる國民の歡迎すべきもので無い、基督敎國の好色漢は美術の名を濫用して裸體畫特に妙齡婦人の圖を描く、演劇は半裸體の踊が無ければ入りが無く、美術館は裸體の彫刻や繪畫が無ければ客足を引かず、美とか眞とかいふもの、皆是れ卑陋なる根性を表はす言ひ前に過ぎない、羅馬の亡ひしは何の爲めであるか、佛蘭西以太利西班牙の衰へつゝあるのは何の爲めであるか、我等敬する純潔なる旭日の國民よ、希くば裸體畫が亡國の前驅たることに注意せよ、▲一日淺草公園の玉乘を見た、妙齡の婦人が股引襯衣の儘で場に上る、是れ實に彼の歐米の裸體踊の眞似事ではないか、一日勸工場に繪端書を集めんとした、歐洲舶來の裸體繪端書の多きに驚いた我は此傾向を今日に於て日本の識者が防止せんことを切に忠告する（△△坊）

廣告

東北凶作地窮民義捐者芳名

第八師團第七補助輸卒隊

一銀貳十錢　小田島貞藏
一同貳十錢　濱田喜七
一同參十錢　山口彌
一同壹圓也　三浦巳代麿
合計二千九百〇九圓二十五錢

競爭入札廣告

第一號　生牛皮　約二千枚
第二號　生羊皮　約四百五十枚
第三號　生豬皮　約四百二十枚
第四號　烏拉靴　約一萬足

以上癈品入札保證金各見積代金百分の五以上
右一括賣却す買受望みの者は二月二十五日より三月十日迄に當支庫に出頭入札心得書契約書案及現品熟覽の上三月十二日午前十一時迄に入札書を當支庫に差出すべし即時開札す
此契約は滿洲軍倉庫奉天支倉庫長橘元勝造擔任す

明治三十九年二月二十五日

滿洲軍倉庫奉天支倉庫

拍賣告白

拍賣告白奉天滿洲軍支倉庫官署准於日中曆二十二月十八日（日曆三月十三日）拍賣左開牛羊猪等皮貨有願包買者自（日曆二月二十五日中曆二月初三日）起至（日曆三月十二日中曆二月十七日）止赴到該署詳看貨物及呈單條規契約樣式等書限於（日曆三月十三日午前十一時中曆二月十八日上午十點鐘）呈單即時拆封定局呈單者必要將遞價十分之五定銀先交作押如無成局仍將原定繳還立契官滿洲軍倉庫奉天支庫長橘元勝造

開
第一號　生牛皮　約二千張
第二號　生羊皮　約四百五十張
第三號　生猪皮　約四百二十張
第四號　烏拉靴　約一萬雙
計

明治三十九年二月二十五日
光緒三十二年二月初三日

競賣廣告

第一號　二輪荷馬車　千參百輛
第二號　二輪荷馬車輓具　五百副
第三號　一人挽徒步車　三千輛

此入札保證金は各自見積代金百分の五以上
右競賣に附し賣却す入札望の者は當所倉庫に就き（自午前十時至午後四時）間現品及入札心得書並に契約書案等熟覽の上來る三月二十日（自午前十時至正午）入札書差出すべし但即時開札す
此契約は門司野戰兵器本廠奉天出張所長西野雄太郞擔任す

明治三十九年二月二十日
奉天停車場南方約八百米突に在る（山西會館附近）

門司野戰兵器本廠奉天出張所

拍賣告白

門司野戰兵器本廠奉天出張所茲於日曆本年二月二十日在奉入倉庫拍賣車輛願欲包攬者每日自上午十點鐘起至下午四點鐘止須到該處詳看車輛拍賣知及合同樣式限於三月二十日自上午十點鐘起至晌午須呈入札書即行開札再立此合同者爲門司野戰兵器本廠奉天出張所長西野雄太郞

計開
第一號　双輪搬貨馬車　千三百輛
第二號　双輪搬貨馬車用車套　五百副
第三號　人力單拉車　三千輛
承買者均須將各自估價一百分之五先交作押

明治三十九年二月二十日
在奉天停車場東南方清里一里半
（山西會館附近）

門司野戰兵器本廠奉天出張所

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
A RCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

建築請負廣告

弊組儀昨年中官民の建築工事に從事致居候處本年より專ら居留地へ各事業家之建築多大なるものと推測し就ては本年より一層事業を擴張し各位の希望に應じ正實と叮嚀を主とし勉强可仕尙構造法等は多額を要せずして强固なる建築法を研究在候間建築御希望の御方は御通知次第參堂御相談可申御注文之程偏に奉願候

營口永世街二本町二百五十八號
工棟組

故川崎軍政官葬儀の際御會葬の各位並に香典其他供物の寄贈弔電等に對しては一々御禮申上る筈に候得共取込中に付乍畧儀新聞紙上を以て此段鳴謝仕候也

二月二十四日

鐵嶺軍政署々員一同敬白

會葬者其他各位

高等旅館 彌生館
營口永世街
館主 宮下只七郎（電四二）

旅館讓渡
新築 客室十五間
雜貨部擴張に付旅館料理の全部營業其儘讓渡し度御企望者は御來談を請ふ
奉天小西邊門外拾間房
浮世館

營口
本店 彌生　電話四二番
支店 彌生　鐵嶺西門外大街

今回新に鐵嶺支店を設け旅館及會席御料理營業仕候間本店同樣御引立之程奉願上候

一位置　西門より西の方五六軒北側に候
一構造　室內裝飾等日本式　特別室あり凡て營口本店の設備に比し優るとも劣ることなし
一待遇　は親切と叮嚀を旨とし調理萬端十分注意仕候

館主宮下只七郎

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郞（電話百七十八番）
即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需應にず

藝妓仲居新來御披露
此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ來り候間御光來の上御評判の程願上候　華々
營口
高砂ホテル
高砂（電話一四五）

右今般新着仕候間可成至急御申込願上候
消火器
英治洋行
營口新市街北

會席料理
營口警察前
三日月

奉天日本旅館
瀋陽館
家屋宏壯清潔
接待優遇懇切
開放仝時一開業
奉天小西門外ナ街路北

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

雜貨卸商
在元神廟營口街
關東公司雜貨部

石材、碎石
並に自家製造 廉價販賣
瓦、煉瓦
營口元神廟街四十號第二號
順吉洋行

菓子用藥品新荷着
醫藥賣藥醫療器械
重曹
硼砂
炭酸安母
ヲーラミン其他
東瀛大藥房
營口永世街

澤亀は醇良にして風味高尚なり
札幌ビール
朝日ビール 直輸
政府專賣口付紙巻煙草 朝日 大和
酢 醤油 瓶詰樽詰
菓子 鑵詰 色々
洋酒類 取次販賣

醸造發賣元
大阪府堺市九間町
北海道小樽湊町
臺灣臺北街書院
臺灣基隆街石牌
臺灣臺南街下南河
北海道函館區辨天町
清國遼陽城内西街
清國大連監部
清國牛荘港東營口
宅合名會社
本店
小樽支店
臺北支店
基隆支店
臺南支店
函館出張店
遼陽出張店
大連出張店
營口支店

諸鐵工製作
鑛山機械鐵工
船舶附屬鐵工
輕便鐵道用材料
土木建築用鐵材
其外鑄物諸般
營口シツプ綏定門南街合東
喜川鐵工場

婦科專治靈藥
奏功如神仙
名聲掩四海

中將湯

大日本東京津村順天堂
大藥房處修
此藥專治婦科諸症如經血、子宮虚冷、白帶赤帶、胎前產後諸症、惡阻、呑酸、吐水諸症、難產、流產、漏血不安諸症、經水不調、經期不順、或在經前經後痛諸症、經逆、經閉、衰發熱、火氣、手足腹痛、頭暈目眩諸症復治男女感冒風寒及疝瘕等症、誠救苦之妙藥濟世之至寶也
子宮病、血の道婦人病一切の妙藥なり
總批發處大清國營口永世街(二本町)
藥司洋行
藥劑士 淺野大藥房
其他各國有名靈藥發售
處醫藥及醫療器械

雜貨 醤油 木炭
すし米 清酒 大樽 半樽
營口西北街
阪神組

滿洲大販賣所
營口 池上出張店 (張松林邸内)
遼陽停車場前 池上出張店
奉天 池上出張店

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し
スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を醸造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

醸造元 大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣 關東公司雜貨部

◎フレノロジー
頭腦を觀察して身の上はんだんをなす
營口豊濟門街廿三號 李俊氏宅の西半町
利生堂

營口永世街
營口印字局

軍隊用雜貨
日用品雜貨
呉服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
卸小賣
其外新荷着精々安價販賣
營口永世街七十號(第二市場東)
石原商店

官製口付莨、文房具
和洋酒類 白米
鑵詰、菓子
藥品、雜貨 卸商
醤油瓶樽詰
防寒具、安價販賣
營口西北街
豊生洋行
(電話十三番)

景品御料理御披露
私儀去月中原料並に道具仕込みの爲め歸朝致し居ましたが此程種々の珍品を仕込みて立歸りましたを幸ひ常の御引立に酬ひ度と思ひますので此際更に大勉强をしまして從來の御料理を吟味します外新に左記の價額にて釜飯湯豆腐の二品を加へ鐵引景品を差上ます

新御料理
加藥飯 御壹人前 銀五拾錢
親子飯 仝 上
湯豆腐 一鍋壹 銀貳拾五錢

但釜飯は加藥親子何れでも御二人前以下は御調進出來ませぬ
景品は御勘定(銀貳圓)に對し一枚の割にて景品券にて差上げ置き今回の總券數二千枚を出し盡しました時に有志の御方々の御立會ひを乞ひまして鐵引致し景品券を引換へに左記の景品を進せます何卒陸續御入來之程を偏に希ひます

景品目錄
第壹等 銘酒澤亀 七樽
第貳等 仝 三樽
第參等 五匁附純金指環 壹個
第四等 二本 銀側懐中時計 (代價二拾圓) 壹個宛
第五等 三本 旅行用皮製カバン (仝拾五圓) 壹個宛
第六等 四本 旅行用化粧道具 (仝拾圓) 壹個宛
第七等 五本 膝掛け (仝八圓) 壹枚宛
第八等 六本 絹紬 (仝六圓) 壹反宛
第九等 七本 メリヤスシャツ (仝五圓)上下 壹組宛
第十等 八本 巻烟草入 (仝貳圓) 壹個宛

明治三十九年二月十日より
元神廟街
翁亭
長谷川金次郎

宮門抄

初二日
商部　鑾儀衛　廂黃旗值日無引見　崑中堂等專摺謝賞神糕
恩　朱侯　雍和宮聽經覆命
召見軍機　恩彥
商部遞封奏一件

上諭恭錄

初二日奉
上諭浙江杭州府知府員缺緊要着該撫于通省知府內揀員調補所遺員缺着姚舒密補授欽此

論說

論儒術

古之儒者。以經世爲業。後之儒者。以文詞爲務。古之儒者。以通達爲本。後之儒者。以拘謹爲賢。然儒術有升降。儒術之升降。君心之好尚爲之也。自古好儒之君。惟漢武帝。其次則唐太宗明太祖焉。當焚坑之後。承黃老之教。獨能罷黜百家。表章六經。則武帝爲難。處開創之世。他務未遑。獨能投戈講藝。息馬論道。則太宗太祖爲難。然武帝好儒。而求其有用。太宗太祖之好儒。不求其有用而求其無用。則好儒同。而其所以好儒之意不同也。好儒之意不同。故其所造之人才亦不同也。武帝雄才大略。懲夷狄之爲患。亟思制變之才。觀其求將相及使絕域之詔。主欲與跅弛之士。共立功名。則帝固不純乎尚儒者。然此正見帝之能用儒術也。夫所謂儒者。則豈僅以文詞之稱美。拘謹之小節。爲足以盡其能事哉。謂其能通達治体。經論世務撥亂世而反之正也。太宗晏新進士。而曰天下英雄。盡入彀中。太祖入學射孟子。而州縣立學。則令生員恪守臥碑。皆恐儒者之爲世患。而立法以防之也。豈眞知儒術之有用哉。知其有用。則不得以文詞汨之。而專尚浮華。不得以拘謹教之。而徒工儀節。使天下皆沈沒於紙堆墨瀋褒衣博帶之中。不復知經入緯地之業。爲吾儒事也。故武帝之崇儒。九方堙之相馬也。太宗　祖之崇儒。葉公子高之好龍也。武帝崇儒。而求其有用。太宗太祖崇儒。不求其有用。而求其無用。觀其繼世人才之盛衰。而武帝太宗太祖之用意。昭然若揭矣。漢帝以經術致太下。承其風者類多經世大儒。董子之粹精固已。他如雋不疑之斷訟。陳湯之出使。劉更生之上封事。皆能援引經典。見諸施行。此漢氏之人才。所以較唐明爲有根底也。唐以詞賦取士。蘇許之手筆。李杜之文章。號稱極盛。而其敝也。浮薄疲茶。一於空疏。明以州縣儒學養士。遜國諸臣之忠義。東林復社之氣節。亘古未有。而其敝也。拘文牽法。難與有爲。二代之人才。遠不如漢儒之學有根底。出爲世用。未必非太宗之粉飾承平。太祖之束縛豪傑。有以致之也。嗚乎。武帝尊內攘外。欲使經世之大業。出自儒生。斯其用意爲獨摯。太宗太祖。雖各有釋奠立學之文而一則粉飾承平。一則束縛豪傑。用意一偏。遂使後嗣不收得人之效。此則對武帝而有愧色者也。然　宗承隋之積習。相沿既久。不能驟革風雲月露之詞。　祖念元之敝俗。嚴範諸生。亦欲稍救九儒十丐之陋。其意固未可厚然。而不知末流之弊。乃至於所學非所用。所用非所學。內憂外患。迭起而莫可如何。則甚矣。造就人才之不可不慎也。彼破格掄才如漢帝者。雖不純乎用儒。而三代下能盡儒生之用者。皆莫如帝。豈　祖　宗之名爲好儒。而實不知儒生之有用於世者。所能企及也耶。

中外要聞

●丈量製造廠地址　昨由練兵處派員帶同商人前往貢院丈量地基並估修房間需欵二十萬兩又聞練兵處人云若改製造器械廠地基尙堪就用鐵大軍機以器械爲練兵急需已晤商慶邸必成其事云

●法使要求教務　法國駐京公使至外部與堂憲會商謂廣西土匪大半因貧劫掠推其原委係失於教化所致擬於該省增設教堂令窮民得所徑由本國派神甫往有傳教亦化匪爲良之上策惟請貴部依允云云外部大臣答以俟與廣西巡撫電商再與貴大臣會議

●混同江漁業之交涉　北洋電稱混同江一帶漁業盡爲俄人把持以致該省貧民窘無所歸速請大部詰問俄使並電咨吉林將軍查察辦理昨外部已照會俄公使矣

●駐俄欽使電覆要公　駐俄欽差昨電覆外部云悉前電現探俄政府以日人居奉施行各事俄在黑吉亦如日平權辦理爲此特希大部速與開議勿令黑吉主權致失等語

●德使向商部要求　德國公使照會外部稱中德商約尙未訂定請將商部所訂礦章變通酌改一爲推廣礦章一爲開通輸運一爲運貨自由共計三條續入商約外部刻在調查以便拒駁德使

●整頓鹺政　政府覆准長蘆京引十四萬向設京館挨次輪銷業已革除現在定擬飭令各據商俱赴天津及張家灣等處運買公保老成之商於張家灣等處催科登記號薄飭委發鹽收課設立循環單付給各商赴張家灣等處驗換環照月終彙繳又査鹽引定例每引行鹽二百五十斤因各商舞欠甚鉅擬將行鹽每包加鹽五十斤以三百斤爲一包令各商照例運銷免其加課應將所增之鹽作何加賦並應否裁留之著戶部堂官奏明內議云云

●倉場津貼　聞倉場侍郎奏請每年加給津貼銀兩應於茶果銀項下動支其倉場筆帖式四員按季應領米石除有令漕到倉量加津貼以備各官公費及官役飯食需用

●擬興口外農務　政府擬定口外地方遼濶開墾田地甚多議將八旗滿蒙人員內擇其熟諳農務者擬選數員前往開辦殊爲有益著古北口提督定議會同外務部王大臣妥議具奏

●獎勵開墾　擬定各省州縣等凡有勸諭民間開墾地畝多者准其議叙按撫入吏督率各屬開墾水田以三年起科其旱田以六年起科亦著爲令云云按開墾一事於百姓最有裨益但向來有司等官需索陋規等情開墾之費浮于買價民間畏縮不前往往實嘆荒棄政府擬定嗣後有可墾之田飭令民間自墾由報地方官不得勒索需費胥役亦不准阻撓云云

●天津路工　聞現在天津修造鐵路通行電氣車以便商民日前各紳董呈遞直督袁帥七十餘分當經袁宮保詳閱所有該稟俱請飭修造停工第二日復行投遞八十餘分共查接收百十餘分袁慰帥無暇悉閱並未批示其鐵路工程仍行修造

●鹽務擬增斤改引　聞浙江濱海地皆斥鹵向來鹽價甚賤居民稱便十餘年來鹽價增長近則加至二三倍不等夫以小民日用必需屢行曉諭該督撫令其悉心經理乃數月以來雖據奏報鹽價暫平然較之數年仍屬昂貴其貴之由鹽場少產于商本維艱使商人之鹽充裕則價自然平減聞戶部現在酌定增斤改引之例咨訪再錄云云

●愼重鹽課　政府議及各省直隸州督銷鹽引巡緝私鹽原係府同知經管現在飭改州同原係通判兼管無州者仍飭州同管理如銷引不完及巡緝私鹽不力者該督即照例奏參又凡起解鹽課協餉該鹽政督撫豫先知會前途督撫應酌撥官弁護送嚴飭解官由大路按站起行如有疏虞等情該管督撫將經過地方官題參著落分賠倘該督撫不移會仍僭行小路一有疎失者照疎防例議處

雜報

●施濟除瘟藥水　本埠西街舊日道署今爲醫院有漏醫深於化學醫術製有聖水乃以引種牛痘之法敷水入之膚裏藉逐氣血周流百骸日後一切瘟作百疫不侵近日分派巡役沿示商民老幼婦孺等概赴該醫院引敷聖水云

●馬兵兇毆村傭　昨由石橋子來人云道標喬公率轄彈壓之兵隊有趙汝安哨弁所帶之馬兵某甲聚賭店中遇有楊家屯富民楊姓之僕忤甲之怒挺擊傭之頭顱一窟湧血如注即時昏斃施經敷藥塞止越時蘇甦暫於該店調養而喬公在埠養痾聞此事昨曾派人去查未識如何懲辦云

●東西水塘凍乾　今止大氣連經冽寒而本埠東西水塘加以衆民挑汲俱凍竭乾因而商民咸以伐冰而食近日男夫婦子紛雜盈塘鑿冰忡々晝夜不息而筐籮挑槓連縮擁途不日塘冰殆將鑿盡則本埠需水或費躊躇云

●含冤尋斃　聞本埠西營有老妓人老宮者有女二一名小三一名小四在天益棧對門居住其二女前晚吞食洋烟當即送至醫院診視細詢其情乃知二女與巡警某某有交近因反目巡捕某某日往該妓館攪擾威嚇萬狀二妓不堪其苦故欲吞烟自盡該巡捕等其亦廢然思返乎噫

笑林

●烟經　鴉片烟來自印度絕無故實可備取徵昨見有烟霞客數輩在烟室高談闊論或謂阿舍經有樹計不考據家謂即鴉片烟或然歟或云王氏醫林集要有曰入方國紅鶯粟花不令水淹頭花謝後黃皮各取名芙蓉此爲最典正在紛紛聚訟莫衷一是之際有老者掀髯大笑曰諸君刺刺何爲哉舍孔子書而不引徒是旁門左道鄙人甚不取也衆譁問在第幾本老者曰論語不云乎二三以我爲癮乎吾無癮乎爾非吸煙之明證而何

●酒令　數客聚飲於某處杯盤既盡剩肉汁一甌或有垂涎之意一客因出一令謂苟能引汁字之最古者方許啜此否則罰一金巨羅衆諾之正在竭力思索啜未座一　遽起擎甌啜之視盤無涓滴後始曰論語有曰吾何執執御乎執射乎吾執御矣此爲最古衆譁然曰音同而字異豈可相混客拂然曰拚意拚字我們讀英文多是如此你們眞正是守舊黨連這點都不知道麼

NEWCHWANG, WEDNESDAY, FEB. 28, 1906.

The Imperial Chinese Post Offices at Mukden, Haicheng, and Kaichow that have remained closed for months past have been re-opened. We are informed that the Liaoyang Office also is to follow suit soon.

Mr. Alexander Hosie, now Commercial Attache to H.B.M.'s Legation at Peking arrived at the port last Monday evening and is staying with his friend Mr. Fulford. We understand that Mr. Hosie, having once officiated as the British Consul here, possesses a wide circle of warm personal friends among the Newchwang residents.

The 6th. meeting of the musical service series came off last Monday evening at the Assembly Hall as successfully as any of the preceding ones. Mr. Geo. Gleason addressed a large gathering on the edifying influence of a high ideal ever kept in one's view.

At 2 p.m. this afternoon, Mr. Gleason will conduct the closing exercises of the Niuchiatun Military Club, the fruitful work of which has been mostly due to his untiring devoted labour, thereby earning the gratitude of the officers and men interested in the Club.

We greatly regret to learn that Mr. Decker's two young daughters are suffering from the small-pox. We join the numerous friends of Mr. and Mrs. Decker in offering every sympathy in their hours of severe trial. It is to be sincerely hoped that, under the medical skill of Dr. Daly supplemented by Mrs. Daly's kind nursing vigil, the young patients will be helped out of their ordeal very shortly, and, further by a stroke of exceptional fortune, free from any finger-marks of the cruel scourge.

The Administration has been carrying on a free vaccination of the Japanese residents on application at its Medical Office in the rear of the Police Court since the 20th. last. In West Yingkow, the preventive operation has been opened for the Chinese applicants at the General Hospital located at the old Taotai's Yamen since the 24th. inst., already inoculating over 2,000 people, as the hard-won results of the from-door-to-door visit of the native Sanitary Committee, with a view to satisfying the occupants of the benefit of the medical boon dangling in so easy access, the wilful denial of which is tantamount to a crime against themselves and, what is of graver consequences, against public health. It is very regretable however to find that, in spite of all this patient solicitude on the part of the authorities, a superstitious aversion to the simple and almost painless device of securing immunity from contagion, is too deepseated in the average native to be overcome by reasoning from without. It is suspected with good reason that a good many resort to all petty tricks to evade vaccination, and lay themselves open to constant danger of infection, confirming the truth of the Japanese saw that "there is no cure for a fool" but a repentless death.

The largest auction yet held at the port under Mr. Cook's hammer is to take place at 10.30 a.m. on each of two days in succession, March 2nd. (Friday) and the 3rd. (Saturday), at the premises now occupied by Messrs. E. A. Sargent & Co. The bulk of interests involved might well enlist public attention in a degree more than ordinarily given to previous events of a similar nature. Under instructions from Messrs. American Trading Co., the auctioneer will offer to 'first come' the advantageous opportunity of 'first served' with the following long list of varied articles on hand:—a large quantity of household furniture consisting of dinner services, a large amount of glassware, crockery, porcelain vases, cutlery, bed-room and dining-room suits, table and bed-room linen, lamps, blankets, stoves, pictures, carpets, skin-rugs, clocks, curtains, filter, etc.—and also a stock of merchandise comprised of 100 pieces of matting, 9 lumber hooks, 3 lumber rollers, 1 Fairbanks scale, 1 irrigation wheel, 3 tarpaulins, 24 window frames, 1 old Indian plough, 8 bags of bolts and nuts, 78 lbs. of galvanized iron screws, 71 lbs. of glavanized washers, 51 3/4-doz. Wright's health socks, 16 5/12-doz. kerosene oil purifiers, 2 tins of safety matches, 32 rolls of asphalt roofing, 6 drums of tar, 57 lbs. of tacks, 1 sycee safe 2 by 2 by 4, 1 2nd. hand Fox typewriter in good conditions, 4 cases 12 Hotchkiss gun saddles, 109 lengths of steel pipe of various sizes, 7 Globe valve for 3-in. pipe, 1 Hammond typewriter with extras, (22 kegs of 40 to 100 lbs. each calirns, 9 kegs of 30 to 100 lbs. duro, 9 barrels of 175 to 350 Indelo) colour washes, and 1 gentlemen's 2nd. hand bicycle, etc.

時刻

唐山至天津　上六、一二　上一一、二八
塘沽至北京　上六、〇〇　下一二、〇六
天津至北京　上一二、〇〇　下五、二〇
山海關至北京　上八、　下六、四五

天津至山海關　上六、二五　下一、二一
唐山至山海關　上六、〇〇　上一一、五八
山海關至營口　上七、〇五　下四、五五
溝邦子至新民屯　上三、〇〇　下六、五七

大石橋　奉天　遼陽　上り列車
大連　旅順　驛名　發着時刻
營口　大石橋　上り列車

豫報

昨日氣温
最高温度卅一度三　低七度二
最低温度二度八　高低三度八
（昨年との比）

營口旅館料理店案内(いろは順)

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三軒

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 竹村館 永世街二十二號(電話五二) 店主 廣田久二

旅館 大和館 永世街十一號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

御料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

東京御膳 生そば一式 元神廟 東庵(電話百五十九)

旅館 金城ホテル 永世街百六十六號 料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 醉花園 旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街

さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 叮嚀專一 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理並ニ溫泉 一力 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号

和洋料理 御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 營口ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 萊水館 主任 朝枝園擔

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席御料理 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

撫順炭大販賣 多少に不拘御用命被仰付度願上候 金城館販賣部

特別室落成 營口金城ホテル旅館部

藝妓仲居 新來 金城館料理部

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

旅館 富喜樓

室内は極清潔防寒之設備あり 鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案内者出張致し居候

鐵嶺城東門外南へ一丁余 南大街 樓主敬白

御旅館 豊陽館 上海(電話一〇六番) 日本郵船會社荷客取扱 歐米滊船乘船取扱 館主 米田藤吉

歐米各國最新流行形 西海洋服店 永世街一四一(泰興隣三軒目)(電話百二十七號)

御料理 満月 平の町(電話二) 満月支店 平の町(元都樓跡) 店主 吉本[illegible]

森病院

診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時

往診 午後三時より

△患者の入院治療を諾す

△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄(取扱主任森醫學士)

院主 森 篤 醫長 鈴木昌平 營口永世街(電話一五五番)

和洋 會席 御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に遊附且又會費等は特に割引大勉强仕候

二奉天支店も本店同様に大勉强仕候間御光來被成下度候

營口永世街二本町 日本館本店(電話百三十番)

奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店(電話十九番)

各位様

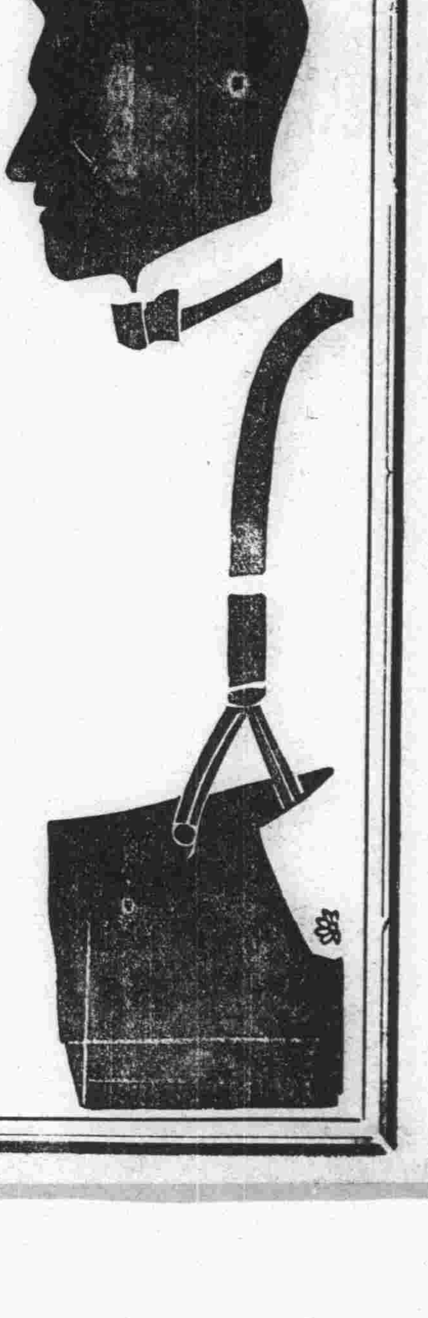
東營口郵便局東隣 島田洋服店

新民屯停車場前 同支店

御料理 旅館 勉强館 奉天小西關外北長發園隣

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相惟度右は同業者協議の上及廣告候也

營口旅館料理屋同業組合



新着! 東京市松 雛人形 はこせこ、

舶來ヅボンツリ、新形チクタイ、流行リボン、鏡入、紙入、蒔繪紙入、手文庫、金庫、支那鞄、柳行李、元祿模様、絹首巻、ハンカチーフ、花簪、鶴香水、ばら白粉、櫛、刷毛、理髪道具類、春模様新柄友染、双子縞、銘仙、裏地品々、

營口 加藤洋行(電話八十番)

發賣 料木 標子 木板

清國營口二本町二五五號 塩川商會 主任 鹽川峰吉(電話一三六番)

遼陽小西門内 鹽川商會

●建築用材 外に電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本 用材北海道産松大角(自廿五尺至三十尺)一万立方尺餘 右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓

○上等日本米 一石に付 銀二十圓

○板材木 ○木炭 ○亞鉛板 ○洋釘 ○干擴魚 ○石灰

御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也

喜久洋行 永世街八十號(電話百五十二番)

大連 東洋ホテル 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

發賣 標子 木板 料木 營口青堆子 清水寧本局

爲替相場(二月廿七日)

日本向 一百圓五十錢(軍票百圓に付)

上海向 七十一兩(同)

天津向 一百〇二圓二十五錢(百弗に付)

芝罘向 天津向ト仝

日本品最近物價表 石原商店

一筍ボイル 三十入 銀八圓

一フキ同 同 同五圓五十錢

一福神漬 四打入 同三圓

一上白米 石 同廿二圓八十錢

一美濃紙 一同 同六圓八十錢

一大手帳 一打 同一圓

一スコッチ靴足袋 二十五本入一函 同四圓五十錢

一洗濯石鹼 二十五本入一函 同三圓

一同 同 同二圓

一毛シャツ上下 打 銀二十五圓より六十圓迄

一白メリヤス上下 打 同八圓より十三圓迄

一首輪 打 同二圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙